

(様式3)

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第2回東村山ふるさと歴史館協議会				
開催日時	平成31年2月14日(木) 午後3時00分～4時30分				
開催場所	東村山ふるさと歴史館 研修室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： (委員) 石田武久会長・大井芳文副会長・栗原康裕委員・島田弘之委員・ 長嶺すみ江委員・當間シマ子委員・木村茂光委員・浜野進委員 (市事務局) 中澤信也(ふるさと歴史館長)・鈴木すみ子(文化財係長)・ 神山直子(庶務係主任)</p> <p>●欠席者： (委員) 時田俊輔委員 (市事務局) 齋藤文彦(庶務係長)</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可 の場合は その理由	/	傍聴者 数	なし
会議次第	1 開会 2 協議事項 (1) 平成30年度東村山ふるさと歴史館事業について (2) 平成30年度東村山ふるさと歴史館決算概要について 4 報告事項 5 閉会				
問い合わせ先	教育部 ふるさと歴史館 庶務係 担当者名 齋藤・神山 電話番号 042-396-3800(直通)				
会 議 経 過					
【傍聴者確認 なし】					
1 開会 ・会長挨拶 ・館長挨拶 2 協議事項 (1) 平成30年度東村山ふるさと歴史館事業について ○館長(市事務局) 平成30年度東村山ふるさと歴史館事業について、開催実績を報告します。なお、平成30年度はまだ終了していないことから、開催実績は平成30年4月1日～平成31年1月31日現在までの期間開催した事業報告となります。 はじめに東村山ふるさと歴史館での事業についてですが、資料1の網掛け部分は年4回開催される企画展です。					

平成 30 年 4 月 28 日（土）～平成 30 年 7 月 1 日（日）

下宅部遺跡展「縄文の漆Ⅱ」

平成 30 年 7 月 21 日（土）～平成 30 年 9 月 2 日（日）

夏の企画展示「夏休み自由研究のたね」

平成 30 年 10 月 6 日（土）～平成 30 年 12 月 16 日（日）

東京 150 年記念企画展「東村山の東京 125 年」

平成 31 年 1 月 10 日（木）～平成 31 年 3 月 10 日（日）

小学校社会科見学対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」

「縄文の漆Ⅱ」、「夏休み自由研究のたね」は会期中来館者数、開館日数を記載していますが、「東村山の東京 125 年」については現在集計中のため、おおよその人数で記載しています。また、「なつかしい暮らしと道具たち」については、現在開催中です。

7 月 29 日（日）に開催した「れきしかん夏まつり」では、ふるさと歴史館職員と、この期間来ていた博物館実習生が一体となり、ゆでまんじゅうづくり、紋切り型うちわ、カゴ編みコースター、うつし絵、カンぽっくり、けん玉、割りばしでつくった鉄砲での射的、館内プログラムのスタンプラリーなど、来館者が楽しめる内容を企画し事業に臨み、小さな子どもから年配の方まで多くの方の来館がありました。

なお、現在開催中の「なつかしい暮らしと道具たち」については、平成 31 年 3 月 10 日（日）まで展示となっています。

資料 1 のいちばん最後「考古学講演会（第 1 回）」は全 3 回シリーズとなりまして、第 2 回目は平成 31 年 2 月 24 日（日）、第 3 回目は平成 31 年 3 月 16 日（土）を予定しておりその申し込み状況はいずれも満員御礼となっています。

次に、資料 2 八国山たいけんの里事業についてですが、こちらにつきましても 1 月末までの開催実績となります。施設名のとおり、各種体験型の事業を行い多くの方々にご参加いただいております。5 月のゴールデンウィーク期間中には多くの参加者がございました。一つ一つの事業規模は小さめですが、参加者が実際に体験することで大変中身の濃い充実したものとなっております。

来年度以降も、来館者が楽しく充実できる事業内容を職員一同検討していきたいと考えております。

○会長

何か質問はありますか。

○A 委員

もう少し、資料に情報が欲しい。たとえば、講演会の講師名を記載していただいた方が議論しやすいかと思う。

○館長（市事務局）

文化財係長より、補足説明をさせていただきます。

○鈴木（市事務局）

平成 30 年 6 月 10 日（日）「縄文の漆Ⅱ」付随講演会

千葉主任学芸員 その後の研究から明らかになった漆工技術について講演。

平成 30 年 10 月 27 日（土）「東村山の東京 125 年」付随講演会

高野宏峰氏（中央大学準研究員）「明治時代における東京府東村山村の 20 年」を講演。

平成 31 年 1 月 26 日（土）考古学講演会（第 1 回）

「旧石器時代的石器から縄文時代的な石器へ」

小菅将夫氏（岩宿博物館 館長）

平成 31 年 2 月 24 日（日）考古学講演会（第 2 回）

「土器のはじまりから縄文文化の成立へ」

小林謙一氏（中央大学教授）

平成 31 年 3 月 16 日（土）考古学講演会（第 3 回）

「東村山市の周辺の旧石器時代・縄文時代草創期遺跡-大地と川と野水-」
野口淳氏（東京大学総合研究博物館学術支援専門職員）

考古学講演会に関しては、第1回目が終了したところであり、大変好評でした。第2回目も定員に達しています。第3回目も市報に掲載予定です。

○会長

2、3月の事業予定も資料に入れる方が良い。何か質問ありますか。

○B委員

現在、小学校社会科見学対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」をしているが、とても良く私も解説を聞いたが、解説者がとても子ども達の興味を引きつけながらやっており、展示も工夫されている。子ども達の学習において貴重な機会だったと思う。

○鈴木（市事務局）

ありがとうございます。社会科見学は、学校からの要望もありますし、東村山ふるさと歴史館に来館してもらうチャンスでもありますので、これからも力を入れていきたいと思っています。

○C委員

両事業について、参加人数が二桁にいないものについてはどうということか。募集をかけたものに対し、応募が一名だったとしても事業開催するのですか。

○鈴木（市事務局）

参加人数については、子ども向け事業は学校行事と重なってしまうときがあり、これからは学校行事等のリサーチもして日程を調整するよう検討したいと考えています。
募集したものについては、一名であっても事業開催する方向で取り組んでいます。

○D委員

八国山たいけんの里の自然観察会についてだが、小学校等に呼びかけはしていますか。子ども達への呼びかけがあると、参加人数が増えると思います。

○鈴木（市事務局）

市報、はっちこっく通信では情報発信していますが、小学校へのチラシ配布はしていないので今後、検討します。

○神山（市事務局）

自然観察会は天候に左右される事業であるため、参加人数に影響が出やすいが、人気が高くリピーターの多い事業です。

○E委員

参加人数が気になることと、資料についてだが自然観察会の横にカッコをつけて何を観察したかを記載してくれると良いのではないかと。7月に狭山公園主催で、夜親子で蝉の抜け殻を探すというイベントがあったが、台風で天候が悪いにもかかわらず賑わってとても楽しそうだった。共催なども検討してみたいか。チラシ配布については、難しいことはわかるが、働きかけは必要かと思う。子どもに伝わらなければ、せっかく良い物を持ってもらえない。

○F委員

私も、参加人数が少ないのが気になったが、先ほどの説明で理解しました。

○館長（市事務局）

いろいろ、ご意見ありがとうございます。自然観察会については、職員の方でもアイデアを出して開催はしているが、結果はこのようになっていますので、今後検討していきたい

たいと思います。チラシ配布に関しても、事業を周知していくことが私も必要だと感じています。

(2) 平成 30 年度東村山ふるさと歴史館決算概要について

○神山（市事務局）

当該決算については市議会 9 月定例会において審議されるものであるため、見込みということでご認識をお願いします。

東村山ふるさと歴史館の事業は大きく九つに分類され、二係で運営しています。東村山ふるさと歴史館、八国山たいけんの里施設運営以外にも文化財保護政策を進め、公開をすることにより市民の方々へ文化財や郷土の歴史に親しんでもらい、また開発に伴う遺跡の試掘調査を行い埋蔵文化財の有無の確認もしています。下宅部遺跡が埋没保存されている「はっけんのもり」の維持管理もその一環です。各事業、おおむね平成 30 年度予算額どおり執行される見込みとなっていますが、東村山ふるさと歴史館の空調機トラブルのための修繕費増、台風被害、土地開発増加に伴う試掘件数の増加による車両の燃料費増等について増額になる見込みがあります。

○会長

資料 3、4 の説明をお願いします。

○神山（市事務局）

上半期については、来館者数減になっていますが、下半期については前年度よりも来館者が微増しています。これは、平成 30 年 10 月 6 日から平成 30 年 12 月 24 日まで開催された「北多摩 TOKYO カードラリー」及び平成 30 年 12 月 1 日から平成 31 年 1 月 31 日まで開催された「ひがしむらやま観光御朱印帳スタンプラリー」の影響と思われます。

○C 委員

2 月、3 月は平成 29 年度より入館者数が少なくなるのでは。前年度比についても記載があるとわかりやすく、決算については概算でも資料を出していただきたいです。

○B 委員

確認だが、6 月の入館者数が多いのは、菖蒲まつりの影響ですか。

○神山（市事務局）

その影響が大きいです。特に八国山たいけんの里は、菖蒲まつり会場である北山公園に近いため、散策コースに入れる方も多くいます。

○鈴木（市事務局）

菖蒲まつりでは、ふるさと歴史館のテントもありそこで特別展のチラシを職員が配布しています。また、今回は入らなかったですが西武鉄道で開催しているイベントで散策コースに入ったこともあるので、今後もアピールをしていきたいです。

○G 委員

北多摩 TOKYO カードラリー、ひがしむらやま観光御朱印帳の話が出たが、来る目的がないと来館者数が伸びないのでは。事業に対しても、興味がないのか、参加できないのか、知らないのか（これが問題であると考え）色々な角度からの検証が必要かと思いました。

○鈴木（市事務局）

現在は、市報やホームページ掲載は必ず行っていますが、その他フェイスブック等にも対応していきたいです。

○A委員

校長会は月に何回ですか。企画展等のチラシ配布は可能ですか。

○館長（土事務局）

月一回で、私も校長会には参加しているため、チラシ配布は行い案内をしています。

○鈴木（市事務局）

夏休みの子ども向け事業は、夏の企画展にチラシ掲載しています。

○E委員

学校向けに出前授業をしているが、その話もすると中だけでなく外にでも活躍していることがわかり良いのでは。

○鈴木（市事務局）

出前授業は、主に市の無形文化財であるまつりばやしが多く六社ある保存会の方々に協力してもらい行っています。他にも、糸車やしめ縄づくり等実演・体験型の授業も行っています。

○会長

次回、出前授業の資料もお願いしたい。

3 報告事項

- ・台風被害報告（八国山たいけんの里、はっけんのもり倒木撤去）
- ・平成 31 年度東村山ふるさと歴史館修繕予定（屋上自動制御装置・消火栓設備等）
- ・平成 31 年度八国山たいけんの里、修繕予定（エレベーター・屋根）
- ・東村山市立社会福祉センター改修工事（2019 年 4 月 1 日～2019 年 12 月 1 日）

4 閉会